

立教GLP科目の履修を希望される方へ

| 注意点 |

1. 立教GLPの科目を履修する為には、通常の履修登録システムではなく、**別途履修申し込みをする必要**があります。
2. 具体的な申し込み方法は**2019年度履修要項に記載**してあります。必ず目を通して履修申し込みをしてください。
3. 全学共通科目の単位履修上限を超えると履修できません。**全学共通科目の登録単位数にご注意**ください。
4. 申し込みをする立教GLP科目と**同じ曜日時限に他授業を登録しない**でください。履修登録システム上で同じ曜日時限に他の科目を登録すると、そちらが優先されてしまいます。

| 春学期 GL101の履修登録方法 |

<申し込み方法> 立教V-campus Blackboard (<http://spirit.rikkyo.ac.jp/blackboard/>) にログインし、年度別コース一覧の「その他」より「GL101 (履修申請用)」をクリックの上、そこに設定された設問に回答すること。

<申請期間> 4月2日(火) 10:00～4月5日(金) 18:00

<選考結果> 選考の結果、履修を許可された者は、4月9日(火) 21:00より履修登録状況画面及び履修登録システムに「GL101」の情報が表示され、登録確認が可能。

| 新入生向け説明会のお知らせ |

グローバル教育センター提供プログラム履修ガイダンスにて本プログラムの説明をするので、履修を希望する学生は、このパンフレットを持参の上でできる限り参加すること。

- 経済学部、理学部、社会学部、法学部、経営学部、異文化コミュニケーション学部
4月4日(木) 11:30～13:00 @池袋キャンパス 9号館 大教室
- 文学部、グローバル・リベラルアーツ・プログラム
4月3日(水) 11:00～12:30 @池袋キャンパス 14号館 D201教室
- 観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部
4月3日(水) 11:00～12:30 @新座キャンパス 8号館 N8B1教室

| 奨学金について |

立教GLPでは、海外学習科目GL301のための独自の奨学金制度を設けており、他の奨学金と併給可能です。支給対象や申請方法など詳しくはグローバル教育センターまでお問い合わせください。

| 2019年度開講科目 |

学期	科目	場所	曜日・時限	クラス数	1クラスの定員数	申請時期・方法
春学期	GL101	池袋	火・5	9	20	春学期・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
		新座	月・5	3	20	春学期・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
	GL202	池袋	火・2	2	10	18年度3月後半・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
	GL301*	—	—	1	指定なし	4月に別途説明会実施・4-5月プログラム応募・6月履修登録申請 (グローバル教育センターで申請)
秋学期	GL102	池袋	水・4	1	36	秋学期・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
	GL111	池袋	火・5	2	10	秋学期・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
	GL201	池袋	火・4	2	20	秋学期・その他登録 (Blackboard 経由で申請)
	GL301*	—	—	1	指定なし	9～10月に別途説明会実施・10-11月プログラム応募・11月履修登録申請 (グローバル教育センターで申請)

*GL301で指定されている海外プログラムは、それぞれ夏季休暇・春季休暇中に実施されます。詳細はグローバル教育センターHPを確認し、説明会に参加するようにしてください。

| 問い合わせ |

立教大学 グローバル教育センター(マキムホール2F)
電話: 03-3985-4876 Email: glp-info@rikkyo.ac.jp
HP: <https://ghrd.rikkyo.ac.jp/>

Facebookもチェック



GLP

GLOBAL LEADERSHIP
PROGRAM

2019

2019年度 プログラム案内

立教大学 グローバル教育センター
全学共通科目/全学共通カリキュラム科目

チームワーク？ みんなで何かする？
そんなのめんどくさいと思っているあなたに。

今の**自分**を変えてみませんか？
そのきっかけはあなたの**リーダーシップ**を知ることです。

ACTIVE

自分で決めて、自分で動いて成果を生み出す
そして、成長できる環境

SKILLS

リーダーシップ発揮に役立つスキル

SUPPORT

少人数クラス&教員やSA、CAによる
きめ細やかな学習支援

GLOBAL

多様な背景を持つ人たちと
共に活動することから得られる
多様性への理解や姿勢

REAL

企業/団体からの
リアルな課題に挑戦

グローバル・リーダーシップ・プログラムは、
あなたに、多様な人と関わる喜び、
成長につながる機会を提供します。





成果を出すためにはリーダーが1人いればいいわけではない。
多様性を活かす、一人ひとりのリーダーシップが重要。
これからの時代に必要なリーダーシップについて学んでみよう！



企業が直面する課題解決に取り組むリーダーシップの入門科目 GL101/GL111の一学期の流れ

Week 1

キックオフ



リーダーシップについての講義の後、「リーダーやリーダーシップはこうあるべきだ!」というそれぞれの考えを深めます。この持論を目標にプロジェクトをチームで始めます。

それぞれのリーダーシップを考え、目指していきます

Week 2

課題発表とチームビルディング



提携企業から出題されるプロジェクト課題と、その解決案を共に作成するチームが発表されます。「成果を出すチームとはどんなチームか」を考えながら、チームの目標やルールを決めます。

成果を出すためのよりよいチームって何だろう?

Week 3-8

課題分析・課題解決案作成



プロジェクト課題を分析するための入門知識を学び、チームで取り組みます。提携企業の状態や他社の事例も分析し、何をポイントに解決するかを探ります。

解決案の決定は問題点を見つけてから

Week 9-10

ポスターセッションとブラッシュアップ



ここまでチームごとに考えたプランをポスター形式で発表します。フィードバックの方法や活かし方を学ぶとともに、効果的なプレゼンテーションも学び、予選への準備をします。

今の私たちのチームに必要なものは何だろう? チームの現状に合わせてルールや目標も見直してみよう



一人ひとりがリーダーシップを発揮する

グローバル化の中で私たちは、これまでに解決することができなかった非常に複雑な課題に直面します。そのような時代に求められるのは権限や役職にとらわれず、メンバー全員が強みを発揮し成長しながらチームの目標達成に向けて貢献するリーダーシップです。

グローバル・リーダーシップ・プログラム(立教GLP)では、独自のリーダーシップ3要素を軸とし、受講生それぞれが自分なりのリーダーシップに気づく入門段階から、異文化環境でも効果的にリーダーシップを発揮することを目指す最終段階まで、段階的にリーダーシップをスキルとして身につけます。



あなたがチームをつくる存在だ

リーダーシップを身につけるためには自ら実践しながら学ぶことが重要です。立教GLP科目の多くでは少人数グループでプロジェクトに取り組みます。

議論や発表などグループワークの中で、実際にリーダーシップの発揮を試み、有効性を確かめ、様々な場面で発揮できるスキルとしてリーダーシップを身につけます。



グローバルに活躍するために必要な“多様性”の視点

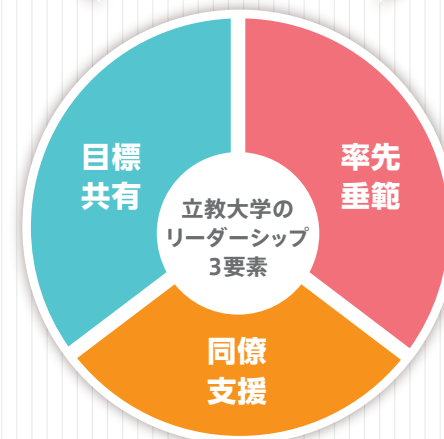
語学を身につけるだけではグローバルに活躍することはできません。

立教GLPは、“多様性への対応力”をキーワードと考えています。受講生は、学年や性別、国籍、思考などが異なる様々な学生とチームになってプロジェクト課題やスキル修得に取り組みます。特にGL111から始まる英語トラックでは、留学生や海外出身の日本人学生と一緒にグループワークを行います。

このような体験を通して、いつでも・どこでも・誰にでも発揮できるリーダーシップを身につけることができます。

チームの目標を設定して共有する
プロジェクトを実施する中でチームとして目標を意識し続けるよう働きかける。

目標に向けて自ら動く
指示出しや仕事の割り振りなど従来型のリーダーシップではなく、自ら行動を起こしチームに影響を与える。



メンバーが行動しやすいように支援をする
壁や障害を取り除き、チームとして最大の力を発揮できるように環境を整備する。

提携企業とテーマ(抜粋)

■株式会社ユニリーバ・ジャパン

『ユニリーバ・ジャパンのブランドを活用して、社会をより良くする提案を考えよう』



■BMW Group Japan

“What are millennials' expectations for automobile companies now and in the future? Present products and/or services that an automobile company should provide in 2040.”



■株式会社エイチ・アイ・エス

『10年後、世界がもっと面白い! と感じるエイチ・アイ・エスらしい店舗ビジネスを提案せよ!』

■オリックス株式会社

『ダイバーシティを活かした新たな働き方や人事のしくみを、オリックスへ提案してください』

Week 11-12

予選・本選

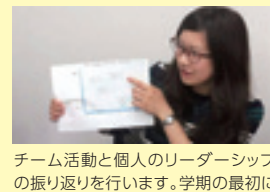


チームで作成した解決案を発表し、競います。予選を勝ち抜いたチームは本選で提携企業に対して解決策を提案します。

提携企業も本気。発表に対して鋭い質問が飛びます

Week 13-14

振り返り



チーム活動と個人のリーダーシップの振り返りを行います。学期の最初に作成した目標と照らし合わせながら振り返ります。プロジェクト中のお互いの行動や態度についてフィードバックを行うことで、より身の入ったリーダーシップ持論を作成します。

壁を乗り越えたのは誰のどういう行動があったからなのかな?

日本語科目

GL
101

Project Based Learning (PBL) によるリーダーシップ入門

多様な人たちとプロジェクトを遂行するために、自分の持つリーダーシップについて考えます。企業から出題されるプロジェクト課題に少人数のグループで取り組み、その中でメンバー全員がリーダーシップの発揮を試みます。学期の終わりに振り返りを行い、自分なりのリーダーシップの発揮方法を見つけます。

GL
201

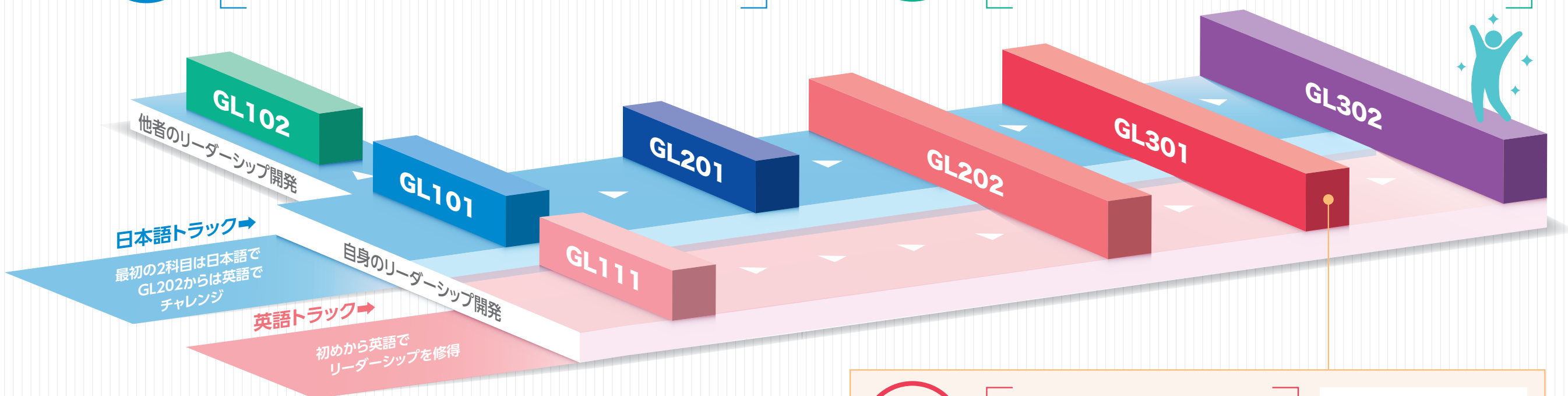
質問力を活用したリーダーシップ開発

リーダーシップの発揮に役立つ質問力を身につけます。知らない人や上司に対して意見をしたり、外国人を英語で説得したりするのは難しいですが、そこで役立つのが質問力です。GL201では、アクションラーニングやコーチングという手法を用いて、質問力を訓練し、リーダーシップの発揮に役立てます。

GL
102

他者のリーダーシップ開発

チームのメンバーのリーダーシップを開発することもリーダーシップの一つです。学習理論などを学びながら、受講生自身が直面している問題などを題材にリーダーシップ開発について考えます。ゼミやサークル活動など身近な場面でチームの強化を図る際に役立つスキルを身につけることができます。



英語科目

GL
111

Introduction to Leadership

企業などから提示された課題に対する解決案を作成するプロジェクトにグループで取り組みます。その取り組みの中で、多様な人たちと協働し、よりよい成果を上げるためのリーダーシップについて学びます。すべて英語で実施されるため、より多様な人たちの中で必要とされるリーダーシップについて学び、実践する機会となります。

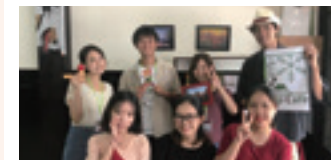
GL
202

Leadership through Inquiry

多様な人と協働する中で、必要なコミュニケーション能力の1つが質問力です。英語環境でも質問力が発揮できるように、質問力を高める手法や理論について学び、授業内での実践を通して、英語環境でのプロジェクトでも自分なりの貢献ができる力を身につけます。

GL
301Practical Training as a Leader
(グローバル・リーダー海外実践)

グローバル教育センターが指定する海外学習プログラムに参加し、リーダーシップの発揮に挑戦し成長の必要性を体感します。GLP科目を履修したことのない学生は、GL301の海外体験を元にGL101/111にチャレンジしてリーダーシップ開発に取り組むきっかけとし、GLP科目を履修したことのある学生は自身のリーダーシップの有効性を確認し次の成長ステップを計画します。



GL301は他のGLP科目を未履修でも本科目から受講することができます。まず今の自分のリーダーシップを確認してみたいという方にぜひチャレンジしてほしい科目です。

GL
302

Leadership in a Changing World

権限を得たときのリーダーとしてのふるまいを討議を通して身につけていきます。具体的には映画などの題材を使いながら、倫理、困難な場面での決断、多様性への対応などをリーダーの視点から具体的に議論します。

体験的にリーダーシップを学ぶ科目を紹介! ～ GL301グローバル・リーダー海外実践 ～



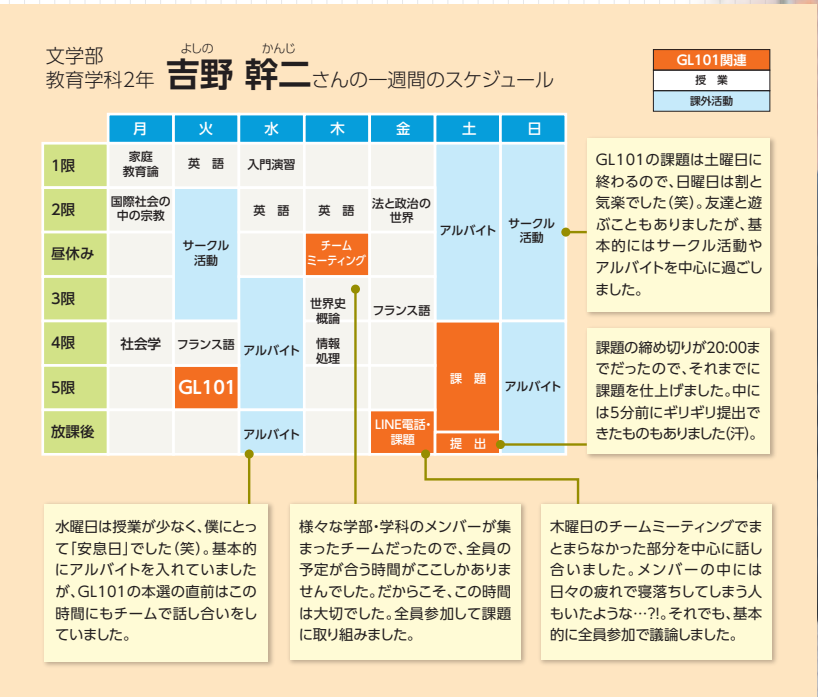
指定プログラム実績(2018年度)

※プログラムは年度により異なります

- **Volunteers in Asiaプログラム：**
社会問題解決の最前線を学ぶ
アメリカ・サンフランシスコ・スタンフォード大学内NPO団体
- **iLEAP グローバルリーダーシッププログラム：**
リーダーシップを学び自分の人生の気づきを得る
アメリカ・シアトル・NPO団体
- **タイ ボランティアプログラム：**
山岳民族の文化を理解し、地域発展へ貢献
タイ・チェンライ・NPO団体
- **海外ビジネス武者修行プログラム：**
実践型ビジネス研修にチームで企画、挑戦
ベトナム・ホイアン・株式会社社旅武者

グローバル教育センター指定の海外学習プログラムに参加し、リーダーシップの発揮に挑戦、自身の成長の必要性を体感する科目です。他のGLP科目を未履修でもGL301から履修することができます。リーダーシップ教育を受ける前に、今の自分の力を確認したい、どのように成長できるか試したい、という方にもピッタリです。GL301を受講した後、GL101にチャレンジし、体系的にトレーニングを積み重ねリーダーシップを身につけるのも一案でしょう。

受講生の一週間



みんなでやるから大変、 でもみんなでやるから乗り越えられる。

GL101を受講して苦労したのがチームで課題に取り組むことでした。課題は授業ごとに出され、チームで話し合いをして完成させます。しかし、チームには様々な学部・学科のメンバーが集まっている上に、他の授業やアルバイト、サークル活動などにも身を捧げているため、なかなかミーティングの時間が合いません。また純粋に課題が難しく、解決できず、チーム内で意見が割れることもありました。

そこで時間が合わない部分は夜にLINEの電話ミーティングを行うことでカバーしました。Facebook、GoogleDriveなどを活用することで常に情報を共有できるようにしました。また、課題に詰まった時は積極的に先生やSAにアドバイスをもらい、メンバー同士でフィードバックし合うことで突破口を探りました。

グループワークを通して見えてきた自分。

苦労もありましたが、得られたものは非常に大きいです。授業で論理思考やプレゼンの組み立て方などの基礎的かつ実用的なスキルを学びますが、それをすぐに課題で実践することで、そのスキルや知識が自然と身につけていきます。さらに、プランの計画・吟味を重ねていくことで、少しずつ物事に対してより多角的に視点を移動させることもできるようになります。

自分にとって最も学べたことはリーダーシップです。授業ではレクチャーやグループワークを通して様々なリーダーシップに

についての考え方や軸となるファクターを学びます。加えて定期的に仲間同士でフィードバックを行い、自分がチームの中でどういう存在であるかを理解していきます。すると徐々に、「自分はどうあるべき、どう行動するべきか＝リーダーシップとはどういうものなのか」が見えてくるのです。

立教GLPを通してより豊かな大学生活に。

大学生になると、すべてがガラッと変わります。授業や勉強に限らず、あらゆる活動において幅が格段に広がります。そのため、最初は戸惑うことも多いですが、やる事が多すぎて逆に何をしたいのかわからなくなる感覚になります。今までとは全く異なる環境に、自分もなかなか慣れませんでした。

だからこそ自分はGL101を受講することを決めました。立教大学には様々な授業がありますが、中でもより他者と関わることの多い立教GLPの環境は今後の自分の大きな舵取りになると思ったからです。実際、GL101で学んだことは授業に限らず、そのほかの場面や人間関係の中で活かしています。さらに、春学期にGL101で自身のリーダーシップ開発を学んだ自分は、よりリーダーシップについて勉強したいと思い、秋学期には他者のリーダーシップ開発についての授業であるGL102を受講しました。リーダーシップについて考え、さらなる興味・関心を持たれたことは、今後の人生で必ずアドバンテージになると信じています。

みなさんもちががでしょうか。是非立教GLPを履修して、学年や学部・学科を超えて様々な人と関わり学びを深めてみてください。



Q：単位はもらえるの?

A：原則、全学共通科目/全学共通カリキュラム科目として単位を修得できます。ただし、卒業要件単位となるかは学部ごとにルールが異なりますので、不明な場合は教務事務センター(池袋・新座)へご相談ください。

Q：誰でも履修できるの?

A：原則として所属学部に関わらず履修できます。ただし、GL101のみ経営学部生は履修することができません。また、GLAP生は、GL111とGL202は必修科目なので、全学共通科目としては履修できません。

Q：1年生からしか始められない?

A：いえ、2,3,4年生でもプログラムに参加することが可能です。例年多くの2,3,4年生がGL101やGL301を履修しています。

Q：GL202から履修することはできますか?

A：できません。積み上げ式プログラムなのでGL101(もしくはGL111)から順に履修する必要があります。ただし、GL301については、GL101やGL111を履修せずとも履修が可能です。

Q：2年次に留学を考えていますが、帰国後もプログラム継続はできますか?

A：1年次にGL101、GL201を履修し、留学後の3年次にGL202を履修される方も多くいます。語学力や他活動との折り合いをつけながら、時期を空けての履修も可能です。

卒業生たちのインタビュー

多くの人が立教GLPで人生が変わったと実感。
大学生活で、卒業後の進路で、立教GLPの学びの活かし方。

INTERVIEW

まつむら あきのぶ
松村 明宜さん

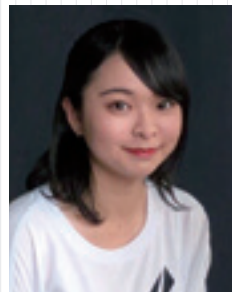
2017年3月
法学部法学科 卒業



INTERVIEW

おいもと ももこ
老本 桃子さん

2018年3月
文学部教育学科 卒業



チームでの 学びを通して新たな自分を知る

立教GLPを履修するまでは、「自分のことは自分が一番よく分かっている」と思っていました。ところが、チームで課題に対する解決案を作成していく中で、またメンバーからフィードバックを受けたり、時には意見の違いから衝突したりする中で、次々に「自分の知らない新しい自分」に出会っていきました。チームに少しでも貢献したいという思いから、自らの強みや課題点を考えるために、「自分」と向き合うことを始めたからです。

他者からの意見を受け止めたり、過去の自分と向き合ったりすることを、辛いと感じることもありました。けれども何でも話せるメンバーがいたからこそ、そこを乗り越えることができ、立教GLPを離れた後は卒業後の進路選択や卒業論文に活かすことができたと思っています。

4年間という限られた時間を有効に使うためには、自分が何をしたいのか、どのような人間になりたいのかを常に考えておく必要があります。立教GLPで「自分」と向き合いつつ、これらのことを考え、クラスに共有することを繰り返し行ったことで、それは次第に私の中でごく自然なものとなりました。やり残したことがないと感じられるくらいに大学生活を有意義に過ごすことができたのは、こうした立教GLPでの学びが大きいと思っています。多様性あふれる環境で学ぶことができる大学という場だからこそ、さらに言えばSAや先生方などのサポートがある立教GLPという授業だからこそ得られる学びがあるということを、一人でも多くの学生に知ってほしいと思います。

人を動かしたければ自分から動く

立教GLP受講前は、田舎の公立高校出身で一人ギターをやっていたタイプの人間でしたので、「チームワーク」「ビジネス」とは全く無縁でした。このままどこかで音楽を諦めてサラリーマンになるんだろうな、と思っていた大学2年のころ、立教GLPと出会いました。

立教GLPの大きな特徴は成果(アウトプット)が前提であることです。通常の授業は座学でインプット中心ですが、立教GLPは逆です。専門家から知識のシャワーを浴びるのは大学生の特権ではあるものの、社会で働く際は、成果物とそのクオリティから逆算し、自分で何をインプットするのか決めます。この基本姿勢、自主的な学習スタイルが立教GLPで身につきました。また、立教GLPは行動の振り返りを重視しているため、ハードスキル(知識やITリテラシーなど)に加え、ソフトスキル(コミュニケーション能力など)の開発にも役立ちました。最高の教員とメンバーに恵まれて授業に打ち込み、「チームで働くことの楽しさ」「ビジネスの楽しさ」を知りました。

立教GLPの影響で、在学中は仲間と事業をやりました(失敗しました)、卒業後はビジネスのど真ん中で勝負をしたいと思い、某IT系メディア企業に就職しました。現在は、webサービスのプロダクトマネージャーをしています。サービスの方針と目標を決めて、チームでそれを達成するように働きかける仕事です。スペシャリティに富んだ素晴らしいメンバーと協業する中で、いつも立教GLPでの経験を思い出します。「人を動かしたければ自分から動く」「愛をもって率直に意見を伝える」「メンバーが最大のパフォーマンスを出すスペースを作る」どれも口に出すと陳腐ですが、私が宝物のように大事にしています。これらはすべて立教GLPから教えてもらいました。

教員とSAからのメッセージ



リーダーシップ行動の積み重ねで、 君の4年間のワクワク感は間違いなく 変わります!

立教大学に入学おめでとう! 入学のお祝いに、いいことを教えてあげたいと思います。ズバリ、「これからの人生を有意義にするためのファーストステップとは」。それは、できるだけ早いタイミングで立教GLPを受講することです! 君がこの大学に入学することを選択したのは様々な理由があると思います。その中の一つに「自分なりのリーダーシップを身につけられるから」というのはありますか? 立教GLPは、自分なりのリーダーシップを身につけ、主体性を持って人生をより良いものに作り変えていくためのファーストステップとなるプログラムです。具体的には、立教GLPで自分のリーダーシップ・スタイルを発見し発揮し発展させます。そして、身についたリーダーシップを日々の生活の場で実践します。この小さな行動の変化の積み重ねを続けることで、君の4年間のワクワク感は間違いなく変わります。この積み重ねの4年間は、就活や社会人生活だけでなく君の人生自体にも役に立ちます。できるだけ早いうちにリーダーシップのトレーニングを始めましょう! それが君の人生をさらに輝かせる第一歩です。君からの申し込み待っています!!



経営学部特任准教授、立教GLP主査
GL101、GL201コースリーダー

いながき けんじ
稲垣 憲治

国内外の企業人事マネージャーとしてリーダーシップ開発や社員教育改革に取り組む。2010年よりグローバル人材育成コンサルタント・研修講師として独立。同年9月より経営学部BLP科目を担当し、現在、GLPの主査、GL101とGL201のコースリーダーとクラス、GL301も担当している。



自分だけのリーダーシップを 見つけてみませんか? 教員とSAが全力でサポートします!

ご入学おめでとうございます!! この文章を読んでいるということは、立教GLPの受講を少しでも考えてくれているのでしょう。それならば、迷うことは何もありません! あなたが大学生活に求めるものはなんでしょうか。人脈なら、立教GLPほど他学年・他学部と深く関われる授業は他にありません。スキルなら、グループワークの方法・プレゼン力・文章力・論理力を学べます。知識なら、リーダーシップ・経営学などを学べます。要するに、立教GLPには多くの人が求めるものがあり、あなたの可能性を最大限に広げます! かく言う私も、1年次にGL101を履修し、2年次にGL201、GL102の履修とGL101のSAを経験し、3年次の今年はGL101のCA(コース・アシスタント)を務めます! だからこそ、立教GLPは、全力で取り組めば、大変満足できる授業だと保証できます!(責任は取れませんが、それだけの自信があります!) 立教GLPには、あなたが全力で臨む環境は整えられています。さあ、あなたも「最も大学らしい授業」を受けてみませんか?



文学部キリスト教学科3年

ひろおか しゅんいち
廣岡 駿一

1年生のときに、GL101を履修。その経験を通して、2018年度春学期GL101のSAを務める。その学びや経験をもとに、他者のリーダーシップを最大に伸ばす方策を常に考え、自身の専門の学び、サークルやアルバイトで実践している。2019年度春学期はGL101のSAたちのまとめ役であるCA(コース・アシスタント)にチャレンジする。